

1. <施策の概要>

基本理念	快適な暮らしを支える充実した居住環境のまちづくり	統括課	消防本部・署
基本方針	消防・防災		
施策名	自主防災体制の強化	関連課	
方針・目標等	◆住民の防火、防災意識の向上。 ◆自主防災体制の拡充。		
実施内容	◆防災資機材の整備。 ◆地域住民、事業所等への防火防災訓練指導。		

2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	自主防災組織結成率	%	京田辺市	52	23	組織/自治会		
②	防火防災訓練参加者数	名	京田辺市	23,445	23	消火訓練等実数		
③								
④								
⑤								
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		49	51	55	60	70	75
	実績		49	51	56	66		
②	目標		21,000	24,000	30,000	33,000	34,000	35,000
	実績		21,130	26,991	36,743	32,529		
③	目標							
	実績							
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・各事業所や自主防災組織等の活動は、他市町村に比して活発であり、各種訓練等を通じて防火防災意識が高く、参加率が高くなっている。
 ・自主防災組織の活動、訓練の指導回数が増加し、火災や救急出動に対応する職員と別に訓練指導に赴く職員を配置しなければならず、今後職員の配置が困難となる。よって自主的に各種事業や訓練を行ってもらえるように自主防災組織に指導者を養成する。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・自主防災組織から訓練指導に携わる職員の派遣要請が増加している中で火災や救急出動に対応する体制が弱体化しないように災害出動隊で訓練指導もできる体制を確立する。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	○ 消防本部・署	-	35,456	35,883	37,255	37,225	37,225
	住民防火指導事業	130	131	146	172	142	142
	一般事業 209	-	131	146	172	142	142
2	消防本部・署	-	40,421	34,652	37,347	37,428	37,428
	予防活動費	671	257	908	264	345	345
	一般事業 211	-	193	163	204	282	282
3	消防本部・署	-	21,491	15,387	15,596	15,966	15,966
	各種団体運営事業	1,461	1,570	1,667	1,934	2,304	2,304
	一般事業 217	-	1,570	1,257	1,934	2,304	2,304
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・事業所に対する消防訓練指導や地域住民に対する防火防災啓発を実施した結果、参加者数が増加し、防火防災意識の向上を図ることができた。

・「子どもを守るまち」の実践として、幼稚園・保育所、地域の児童等に対する防火映画上映、起震車による地震勉強会など防火意識啓発の実施により、知識の習熟が見られた。

・平成23年6月から住宅火災警報器の設置が義務化されており、未設置の家屋に対して更なる啓発が必要である。

・大災害発生に備え、自主防災組織の結成率をさらに進めることが必要である。

5. <施策の今後の方向性>

・自主防災組織等の地域に対する防火防災指導等について、職員の大半が消防隊、救急隊隊員を兼務している中で、実出動体制を整えと共に多くの消防職員が防火指導業務ができる体制を構築していくことが必要である。

・地域における住宅火災警報器の共同購入やインターネット等の活用、各戸訪問等、積極的な普及啓発活動を実施する。

・自主防災組織の結成率の向上を図り、未結成の地域に対し、自主防災組織の必要性等、防災意識高揚のための啓発活動を行う。